インターバンクの声（2014 年 7 月 8 日）

３連休の後だから、気持ち新たに“しゃきっと”気合を入れて売買に臨むはずだと思ってしまうのは、やはり日本人的な発想。ニューヨーク市場の大多数の人たちにとって、年一番のお祭り“独立記念日”が週末に絡んだ今年の月曜日は、単に「二日酔い」ならぬ「三日酔い」から抜け出すための一日に過ぎなかったようだ。

昨晩の主要通貨は、どれを見てもニューヨーク勢が主導権を取って動いた形跡はなく、英ポンドの緩やかな上昇もロンドンの終盤に向けての欧州勢が主体の動きだったようだ。ほとんど変化が無いと言っても良いくらいの相場展開だが、全体的には僅かにドルが軟調。材料が何も無ければ米国債利回りの変化に素直に反応するのが最近の市場の決まりごと。昨晩も２年債から長期債に至るまで全期間にわたって数ベーシス低下したので一応ドル売りだ。東京時間も狭いレンジ相場に耐える時間帯が続きそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社
お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、 複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。 また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。
本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。